

日本舞踊 キャラバン

「沖縄公演」

「昼の部」

長唄 ^{きみがよししょうちくばい} 君が代松竹梅
《沖縄県在住会員出演演目》
松 西川帆鈴
竹 藤間勘穂紫乃
梅 西川壱瑚、若柳美津瑠

清元 ^{さんじゃまつり} 三社祭
悪玉 若柳吉應
善玉 若柳吉優亮

清元 ^{よしわらすずめ} 吉原雀
鳥売男 尾上菊之丞
鳥売女 花柳昌太郎

器楽曲 ^{はちがつじゅうごやのちゃや} 八月十五夜の茶屋
芸者蓮花 吾妻徳穂

長唄 ^{しちふくじんふなでのかちどき} 七福神船出勝鬨
西川箕乃助、花柳寿楽
花柳 基、藤間蘭黄
山村友五郎

「夜の部」

長唄 ^{きみがよししょうちくばい} 君が代松竹梅
《沖縄県在住会員出演演目》
松 若柳賀寿乃
竹 尾上貴保
梅 西川楚静、西川松帆

清元 ^{まほろしおしち} 幻お七
お七 尾上 紫

清元 ^{かんだまつり} 神田祭
頭 猿若清三郎
芸者 藤間恵都子

琉球古典音楽 ^{んかしぶし あかついち} 昔節 暁
井上八千代

長唄 ^{しちふくじんふなでのかちどき} 七福神船出勝鬨
西川箕乃助、花柳寿楽
花柳 基、藤間蘭黄
山村友五郎

●長唄「君が代松竹梅」
昼の部



西川帆鈴
にしかわ ほうす



藤間勘穂紫乃
ふじま かんほし



西川壱瑚
にしかわ いちこ



若柳美津瑠
わかやぎ みつる

●清元「三社祭」



若柳吉應
わかやぎ きちおう



若柳吉優亮
わかやぎ きちゆうすけ

●清元「吉原雀」
夜の部



尾上菊之丞
おのえ きくのじょう



花柳昌太郎
はなやぎ しょうたろう



吾妻徳穂
あづま とくほ

●器楽曲
「八月十五夜の茶屋」

●長唄「君が代松竹梅」
夜の部



若柳賀寿乃
わかやぎ かずの



尾上貴保
おのえ きたか



西川楚静
にしかわ そじょう



西川松帆
にしかわ しょうほ

●清元「幻お七」



尾上 紫
おのえ ゆかり

●清元「神田祭」



猿若清三郎
さるわか せいざぶろう



藤間恵都子
ふじま えつこ



井上八千代
いのうえ やちよ

●琉球古典音楽
昔節「暁」

●長唄「七福神船出勝鬨」
昼夜共通演目



西川箕乃助
にしかわ みのすけ



花柳寿楽
はなやぎ じゅいちろう



花柳 基
はなやぎ もと



藤間蘭黄
ふじま らんこう



山村友五郎
やまむら ともごろう

2023年

12月24日(日)

【昼の部】12時開演 [11時15分開場]

【夜の部】16時開演 [15時30分開場]

2公演

入替制

国立劇場おきなわ 大劇場

〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-14-1 TEL.098-871-3311

- 入場料 [税込・全自由席]：5,000円
- 前売開始：10月30日(月) 午前10時～
- お申し込み：東京コンサーツオンラインチケットサービス
<http://confetti-web.com/nichibuokinawa>
カンフェティチケットセンター(電話予約)
0120-240-540(平日10時～18時 オペレーター対応)
国立劇場おきなわ(窓口販売 10時～18時)
098-871-3350
デパートリウボウ(チケットカウンター 4階 10時～18時)
098-867-1171



オンラインチケット購入
日本舞踊キャラバン オフィシャルサイト

- お問合せ：日本舞踊協会 03-3533-6455(平日10時～17時)
- 制作協力：株式会社 東京コンサーツ/株式会社 谷口事務所
The Nihonbu-yo Association
- 主催：公益社団法人 日本舞踊協会
- 後援：沖縄県・琉球新報社・沖縄タイムス社・沖縄テレビ放送・琉球放送

日本舞踊 キャラバン

「沖縄公演」

日本舞踊キャラバン沖縄公演へようこそ。本公演は全国11か所で開催。
日本の美と粋が詰まった伝統芸能「日本舞踊」の魅力を存分にご堪能いただく
公演です。
地元・沖縄県をはじめ、第一線で活躍中の日本舞踊家が出演し、邦楽演奏家による生演奏で上演。沖縄公演の特別企画として「八月十五夜の茶屋」(昼の部)と「暁」(夜の部)では琉球音楽とのコラボレーションもお楽しみいただけます。
皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

●演目解説 阿部さとみ〔舞踊評論家〕

※公演では、各演目の解説や見どころを司会・桂吉坊がご案内いたします。



長唄
「君が代松竹梅」(きみがよしょうちくばい)
[振付: 西川箕乃助]
松、竹、梅のめでたさを綴った作品です。松を讃えた荘重な趣にはじまり、続く竹では、雪にも負けない竹と恋の道を重ね、やがて梅の花にたとえた女心などを描きます。



清元
「三社祭」(さんじゃまつり)
二人の漁師が躍動感いっぱいに踊る作品です。見どころは、二人がそれぞれ善と悪の字を描いたユニークなお面をつけて踊る「悪玉踊り」。全体的にもテンポ良く、実力の伯仲した二人のエネルギーが魅力です。



清元
「吉原雀」(よしわらすずめ)
鳥売りの男女が江戸吉原の情景を映します。吉原の見世先の賑やかさ、初めての客や通い慣れた客の様子、遊女が客を騙すテクニックなどが描写されます。今回は歌舞伎舞踊の衣裳付より少しシンプルにした「半素」という形式での上演です。



器楽曲
「八月十五夜の茶屋」(はちがつじゅうごやのちやや)
[作曲: 尾崎華泉 振付: 藤間万三哉]
沖縄を舞台にしたハリウッド映画「八月十五夜の茶屋」(昭和31年アメリカ、32年日本公開)の中で、京マチ子扮する芸者が踊ったものを後に舞台化しました。琉球音楽の調べから、美しい芸者の踊りになります。ショー的要素十分楽しい作品です。



長唄
「七福神船出勝鬨」(しちふくじんふなでのかちどき)
[作: 植田紳爾]
[作曲: 杵屋裕光 作調: 藤舎呂英]
七福神が下界の惨状を嘆き、世界を救うために宝船で出発するというお話です。船出にあたり、弁財天と布袋がなかなか来ないので、先に集まった恵比須、大黒天、毘沙門、寿老人、福禄寿の五神が酒を酌み交わしながら、それぞれに因んだ話を披露します。平成21年9月、五福會東京旗揚げ公演のために書き下ろされた作品です。



清元
「幻お七」(まぼろしお七)
[振付: 初代尾上菊之丞]
八百屋の娘お七の狂おしい恋の思いを幻想的に描いた作品です。お七は恋しい吉三とよく似た押絵の羽子板をながめるうちに思いを募らせ、吉三が何者かに連れ去られる幻を見て、彼を救うために、禁止されている火の見櫓の太鼓を打とうと櫓に上っていきます。

国立劇場蔵



清元
「神田祭」(かんだまつり)
[振付: 流祖猿若清方]
神田祭は江戸の二大祭の一つ、神田明神の祭礼です。神田明神は江戸の総鎮守だったため、氏子の地域も広く、江戸っ子の祭として賑わいました。この作品では江戸の祭囃子をふんだんに取り入れて、江戸の粋な男の代表の鳶頭といい女の代表の芸者が、江戸っ子気質を見せていきます。

国立劇場蔵



琉球古典音楽
昔節「暁」(んかしふし あかついち)
[振付: 五世井上千代]
琉球古典音楽「暁節」を今回の公演のためにアレンジ、振付した作品です。暁とは夜明け前のほの暗い時分のこと。愛し合う二人の夜が過ぎ去り、離れ離れにならなければならない夜明けが迫る切ない思いが綴られています。

【主な演奏者】

- 長唄
唄 杵屋勝四郎
三味線 杵屋栄八郎
- 清元
浄瑠璃 清元清榮太夫
三味線 清元志寿造
- 囃子
堅田新十郎
- 「八月十五夜の茶屋」
地謡 仲村逸夫
- 「暁」
地謡 仲村渠達也



【司会】
桂 吉坊
かつら きちぼう



主催: 公益社団法人日本舞踊協会とは

日本舞踊協会は日本の伝統芸能である「日本舞踊」を通じて豊かな社会づくりに取り組む団体です。
1955年に設立され、約110流派約3,600名の日本舞踊家が所属し、全国26の支部があります。普及や人材育成を図るための主催公演の開催や、創作日本舞踊の発表、映像配信、こども向けのワークショップや文化庁主催の学校巡回公演、外国人向け体験プログラムを実施するなど、流派を超えて、各事業に取り組んでいます。

●今回の日本舞踊キャラバン公演は、2023年8月から2024年1月までの期間、山形・鹿児島・徳島・富山・高知・北海道・京都・宮城・沖縄・山梨・大阪の全11か所にて順次開催！
各地で日本舞踊協会ならではの珠玉の舞台をお届けいたします。本公演の詳細や最新情報は、公式HPをご覧ください。

【公演担当理事】

吾妻徳穂／井上八千代／尾上菊之丞
西川箕乃助／山村友五郎／若柳壽延

【公演担当委員】

花柳絵美舞也／花柳知香之祥／藤蔭里燕
藤岡巡子／若柳延祐／若柳杏子